

【R4】 新たな情報発信手法による地域ぐるみの空き家の適正管理と市場流通の促進 (高岡市空き家活用推進協議会)

発表資料

富山県高岡市、氷見市及び射水市において、地域ぐるみの空き家対策を促すために、一般市民を対象に空き家対策公演及び相談会を行い、新たな空き家対策の新たな情報周知方法として多くの動員及び相談をいただいた。

■ 事業概要

事業部門	住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	富山県高岡市
背景・課題	空き家の相談体制の整備・周知や空き家情報バンクの利便性向上等を積極的に行ってきたことで、空き家の利活用の促進について一定の成果が見られた。また、ポスターコンテストやライフシフトスクール等、空き家の所有者等に限らず広く空き家対策や利活用についての啓発、プレイヤーの掘り起こしを行ってきた。一方で、近年の法改正等に伴い、より具体的で詳細な情報を周知しつつ、まちの住環境向上のために、どう考え行動して行けばよいかについて、画期的な情報発信方法を用いて啓発する必要がある。
目的	地域ぐるみの空き家対策と防災等の街づくりを取り組み、並行して相談員のレベルアップや既存のウェブサイトの拡充も行うことで、空き家の適正管理及び市場流通の促進を図る。
連携する団体・役割	東京工業大学・専門家としての助言及び講師



事業の背景と目的

昨年度は、様々な空き家対策の事業・情報周知を実施してきた中で、根本的に、社会問題として空き家、その関係法律が複雑で分かりにくいものであることから、空き家問題を遠ざけている人が多いと考えた。そのため、今年度は誰でも気軽に参加しやすい舞台公演形式における空き家対策の情報周知及び特別相談会等を行い情報周知に努める。

令和3年度行ったライフシフトの先進事例の動画公開とスクールの開催

「日本の他に無い景色が高岡にはある」
空き家リノベでゲストハウスを設立
世界から見た高岡の魅力

Travelers' house ROOTs 鹿嶋勇氏



ライフシフト
スクール

暮らし × 場づくりのススメ

～やりたいことの種をまいてみませんか？～

「まちにこういう場所がないから自分で作りたい」
「自分のこれからの働き方を考えたい」

「自分の暮らしや仕事の延長線上で、まちで何かしてみたい」
「チャレンジしたいけど、どこから始めたらいいかわからない」

「暮らし × 場づくりのススメ」とは

この企画では、全3回を通して参加者の方の想いや、やりたいことを一歩前に進めるお手伝いをします。
新しい繋がりが生まれたり、自分の想像が膨らむような物件に出会ったり、一緒に楽しみながら自分のやりたいことの種をまいてみませんか？

第1回	第2回	第3回
10.28 (木) 18:30 - 20:30	11.13 (土) 14:00 - 16:00	12.16 (木) 18:30 - 20:30
実践者から学んでみる	物件・空間を見てみる	自分で描いてみる
永見の「考えるBAN KOPPE」の竹添ご夫妻をゲストにお招きし、お二人のこと、開業のことやまちづくりのことについてお聞きます。 会場：山町ギャラリー	高岡にある実際の不動産物件・建物を見学します。場所を自分でつくる、使うことを想像しながら活用について考えます。 見学先：サカサカ(城下町)他	「小さな始めの一歩」を考えてみます。自身のやりたいことを一歩前に進めるためのアウトプットを描きます。

第2・3回の場所は未定です。選って参加者にご連絡いたします。

事業の内容

(1) 事業の概要と手順

- ①「楽しく学ぶ空き家の課題」公演 舞台公演の形式による空き家対策の情報周知、啓発を行う。
- ②「地域ぐるみで考える空き家対策と街づくり」ワークショップ
木造密集地域である高岡市川原地区において、空き家対策と防災の観点でまちづくりワークショップを開催し、住民主体のまちづくりの支援を行う。
- ③相談員研修会の実施 住まいの相談窓口の相談員向けの研修を行う。
- ④特別相談会の実施 空き家対策公演(①)後に空き家の特別相談会(事業期間内に3～4回程度)を実施する。
- ⑤空き家バンク支援サイトの拡充 特別相談会等で新たに発掘した物件を「空き家・空き地情報バンク」に掲載するなかで、空き家のコラム記事を作成し、「空き家・空き地情報バンク」登録物件を紹介するコラムサイト「空き家バンク望想(mosomoso)」に掲載する。
- ⑥空き家対策パンフレットの作成 最新情報を盛り込んだ空き家対策パンフレットを制作する。

【R4】新たな情報発信手法による地域ぐるみの空き家の適正管理と市場流通の促進 (高岡市空き家活用推進協議会)

事業の主な取組詳細 ① 「楽しく学ぶ空き家の課題」公演



令和4年10月8日高岡市生涯学習センター4F大ホール、
令和4年11月23日氷見市芸術文化館2Fホール、
令和5年2月5日クロスベイ新湊2F iCNホールにおいて
「楽しく学ぶ空き家公演」を実施した。

空き家に関する悩み、空き家の基礎知識から最近のトレンドまで、演出専門家による軽快な話術により笑いを交えながら学べる公演となった。



事業の主な取組詳細 ②「地域ぐるみで考える空き家対策と街づくり」ワークショップ

東栄町まちづくり瓦版 第3号

発行:東栄町自治会
高岡市空き家活用
推進協議会

東栄町第3回ワークショップを開催しました！



10月29日(土) 19:00～21:00

場所:川原公民館 多目的ホール

参加人数:14名

テーマ

「自治会・地域活動 / 身の回りの空き家・空き地について」

3グループに分かれて自治会・地域活動、身の回りの空き家・空き地について話し合いを行いました。

その中で、東栄町にあったら良いと思う活動、まちにあったら良いなと思う場所についてグループで意見を出し合いながらまとめました。

ワークショップの様子



A、B、Cの3グループに分かれて意見交換を行いました



グループで出した意見を発表したいいただきました

木造密集地域である高岡市川原地区において、
空き家対策と防災の観点で
まちづくりワークショップを開催し、
住民主体のまちづくりの支援を行った。



事業の評価と課題

3. 評価と課題

昨年度は、様々な空き家対策の事業・情報周知を実施してきた中で、根本的に、社会問題として空き家、その関係法律が複雑で分かりにくいものであることから、空き家問題を遠ざけている人が多いと考えた。そのため、今年度は誰でも気軽に参加しやすい舞台公演形式における空き家対策の情報周知及び特別相談会等を行った。舞台公演に出演いただいた演出専門家の知名度もあり、老若男女係わらず多くの動員をいただいた。また空き家問題の基礎知識から利活用の応用、空き家に関する法律まで笑いを交えながらの分かりやすい漫談や掛け合いにより会場は笑いと感心に包まれていた。これにより、空き家問題を難しいと感じていた方にも空き家問題を考えるきっかけとなり、情報周知を行えたと考えている。また、公演終了後に特別相談会を行ったことで、公演で得た知識や興味をそのまま相談していただき、空き家についての悩みをお持ちの方から利活用に興味を持った方まで幅広い相談内容を受けることができた。公演及び特別相談会に参加いただいた方が空き家の適正管理及び利活用に向けて今後も継続して相談会等の空き家に係るイベントに参加していただき、空き家問題の解決及び次世代へのまちづくりに繋がることが期待される。（「楽しく学ぶ空き家の課題」公演・特別相談会の実施）

さらに、地域ぐるみで災害に強いまちづくりを目指す一環として富山県高岡市川原地区において「地域ぐるみで考える空き家対策と街づくり」ワークショップを実施した。身の回りの空き家・空き地について地元住民、大学生、協議会を適当にグループに振り分け問題点及び改善点を話し合った。それぞれの視点からの意見にインスピレーションを受けさらに新しい意見が出る好循環を生み、活気のある話し合いになった。ワークショップの締めに行われた各グループの発表では、傍聴者（発表グループ以外の参加者）から発表内容について賛同する頷きや自分のグループでは出なかった意見に関心する様子等が見受けられた。街づくりに関しては地域住民、行政、関係団体等が一体となり進めていく必要があり意見交換の場として当ワークショップの必要性は高いと考える。（「地域ぐるみで考える空き家対策と街づくり」ワークショップ）

今後も社会問題である空き家対策について、空き家を所有している方は当然ながら、現在は空き家から疎遠（無関心）な方々の関心を引く情報発信を行う必要がある。空き家の所有者（空き家問題の当事者）になる前に空き家に関する基礎知識を蓄えて置くことが、自己所有の建物（相続人に成りえる建物）の空き家未然防止につながる。また同時に未然防止だけでなく利活用に関心を抱いてもらえるような情報発信を行うことも必要となってくる。「楽しく学ぶ空き家の課題」公演及び特別相談会を継続して実施する等、途切れなく関心を持っていただくことが今後の課題となる。